

笠置町監査委員告示第 8 号

地方自治法第 199 条の規定に基づく監査結果の公表について

令和 4 年 11 月 29 日

笠置町監査委員 仲北 悦雄

同 坂本 英人

定期監査の結果について

地方自治法第 199 条第 1 項に規定する定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により下記のとおり公表する。

記

1. 監査を実施した日時等

日 時	令和 4 年 10 月 26 日（水） 午前 9 時から午後 0 時 15 分まで
場 所	笠置町役場 2 階 議員控室
監 査 対 象	1 新規事業に係る企画立案から事業実施までのスキームについて 2 食のイベントに係る稟議書等、時系列について 3 四季彩祭実行委員会の在り方及び見直しに係る検討状況について 4 いこいの館に係る裁判の進捗状況について
収受資料等	1 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業 公募概要 2 四季彩祭実行委員会について 3 笠置町四季彩祭実行委員会規約

2. 監査内容

新規事業に係る企画立案から事業実施までのスキームについて改めて確認するとともに、商工観光課が企画した食のイベントについて、本来あるべきスキームに基づき適正な経過を辿った上で、事業化に至る十分な合意形成がされていたのか、また趣旨、目的、成果、スケジュール、将来性、リスクヘッジ等についての考えを伺うべく本監査を実施した。

上記と併せて、以前の監査において指摘している四季彩祭実行委員会の在り方及び見直しに係る進捗状況についても現時点での考えを伺うこととした。

なお、本監査において笠置いこいの館指定管理料の返還請求等に係る訴訟の経過についても報告を受けていることを申し添える。

3. 監査等結果

本監査において意見した主な内容等について、以下のとおり記す。

【1 新規事業に係る企画立案から事業実施までのスキームについて】

【2 食のイベントに係る稟議書等、時系列について】

新規事業については、総合計画に記載されている目指すべき姿や取り組み方針の記載を基に、その実現のための方策を考えながら情報収集等を行い、事業化について検討したのち、事業内容が固まれば予算化して事業を実施していき、予算計上の際にはヒアリングが実施され、その中で財源について議論を行うという流れが基本スキームであると伺っている。本監査対象である食のイベントについては、ヒアリング時点でスケジュール感及び形骸的な事業になる可能性を危惧されていたとのことであるが、どうにかイベントを実施しないといけないという考えが大前提として職員の潜在意識にあったことから、懸案事項に係る十分な議論が為されないまま予算計上を進めてきたことが実状であると思われる。このようなことは本来あってはならないことで、本事業を実施する趣旨、目的、成果、将来性等を今一度考えてほしい。行政の保身のために実施する事業なのかと疑わざるを得ない。やはり、ある程度は時間を要して庁内及び町内事業者等との合意形成を行った上で予算計上をしていく必要があるが、それをなおざりにする姿勢は従前から全く改められていない。これは監査委員として、再三指摘をしている事項であることから真摯に受け止められたい。

また、本事業のように事業実施に係る懸案事項が多い場合は、事業経過やヒアリング時に受けた指摘や意見について記録を残しておくことが望ましい。経過が分からないことには、結果だけを見ると皆が事業に賛同していたものと捉えてしまう。

なお、ヒアリング実施前に事業概要を検討できる段階を設ける必要があるべきではないかと伺っているが、各課の職員から構成されている企画政策室を活用すれば良いのではないかと。若手の職員が多くいるのであれば、新たなニーズの発見に繋がることも考えられる。

次に、本事業予算は9月議会への上程を辞退されたわけであるが、どのような問題に起因し辞退したのか、またその問題を解決する方法は何なのかということを経常に検証しないことには、次年度の当初予算に本事業を計上したとしても同じ議論になってしまう。

また、この事業の内容は、翌年度以降に町内事業者による商品販売を行う自走スキームを考えているとのことであるが、商品が売れなかった場合に町からの補助を行う等のリスクヘッジについても、町内事業者に寄り添い、守るという観点から改めて意識いただきたい。

【3 四季彩祭実行委員会の在り方及び見直しに係る検討状況について】

四季彩祭実行委員会については、来年3月末を目途に会則と規約を改定し四季彩祭事務局に組織変更をして、町長は委員を兼ねず会長などの職には就任しない、イベントについては各々実行委員会を立ち上げると伺っている。既存の実行委員会を改変することになるので、委員会においてメリット、経過等の説明を適切に対応されるとともに滞りなく事務を進めていただきたい。

以 上